良医を目指して

～豊かな人間性と倫理観を養う一般教育～

金沢医科大学医学部では、建学の精神にある「良医」になるための教育を行います。新入生の皆さんが、その意味をよく理解し、これから真摯に努力していくことを切に願っています。

良医になる前提として、まずは良き社会人でなければなりません。それには、豊かな人間性と高い倫理観が求められます。これらは、医師に限らずあらゆる職業に必要なことですが、人命に関わる医師という職業は特にそれらが強く求められます。良医として、常に患者さんのことを第一に考えて行動し、他の医療従事者と協働して医療にあたるためには、医学の専門知識・技能を習得することはもちろん、幅広い教養と広い視野を備えた感性豊かな人間性、倫理観、生命の尊厳についての深い認識、自己主導型の学習能力、地域医療や国際貢献への意欲、多様性への理解、高いコミュニケーション能力などを持つことが不可欠です。医学生は「大学」において、こうした力を養い、人間として成長することが求められます。医師の資格を得るためには「大学医学部の卒業」が必須条件であり、医師国家試験に合格するだけの医学的知識や技術だけで医師になることが認められていないのはそのためです。

第１学年では、社会人として求められる教養と倫理観を、「医療人」としてのプロフェッショナリズム形成を視野に入れながら身につけます。また、日進月歩の医学に歩調を合わせられるよう、主体的な学びを身につけ、自ら考え行動できるようになるための初年次教育にも力を入れています。

これからの勉学で大切なことは、医学部の６年間で自分が何を学び身につけ、卒業の日を迎えるのか、将来どんな医師になりたいのかを、早い段階から意識して行動することです。本学では、第１学年前期から一般教育科目と並行して基礎医学の専門教育を行いますが、そうした動機をしっかり持つことが医学の専門科目を学修する上で強い味方となります。

以上を踏まえ、一般教育機構では、第１学年の皆さんが医療人・社会人としての基盤を形成できるように、次のような学修成果（アウトカム）を掲げて教育を実践しています。

《一般教育科目の学修成果（アウトカム）》

学生は「良き医療人に必要な自立と自律の獲得」のために、次の事項を身につける。

１．豊かな人間性と倫理観

２．多様性への理解と国際的視野

３．主体性と自己管理能力
４．コミュニケーション能力
５．論理的・科学的思考能力
６．知的好奇心と自己開発への意欲

第１学年の「一般教育科目」には、これらの学修成果（アウトカム）達成のために「人間性育成科目群」と「医学教育準備科目群」があり、学生の皆さんは様々な分野の授業を通して多様な考え方に接し、豊かな人間性と広い視野に立った感性を培います。また、医学の専門科目に必要な知識や技能の向上を目指すとともに医療従事者としてのプロフェッショナリズムを身につけます。

金沢医科大学に入学された皆さんに今求められていることは、上述した目的のために第１学年で開講される「一般教育科目」の意義を十分理解し、そのすべての科目に、主体的・意欲的に取り組むことです。本学の教育を信じ、明確な目的意識を持って積極的・意欲的に学ぶことで、皆さんの良医となる道が拓けます。私たち教員は、それを全力でサポートしていきます。

自分の将来に大きな夢を抱いて、その実現のために一歩一歩着実に歩んでいきましょう。

一般教育機構長　公地宗弘
一般教育機構　　教員一同